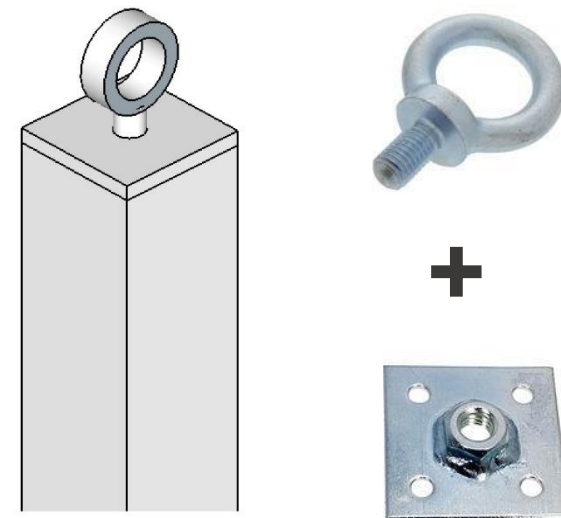
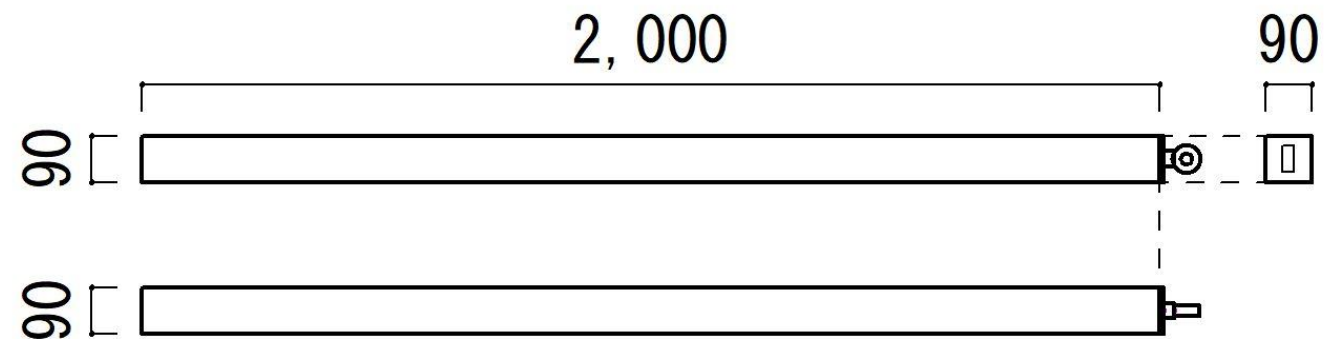
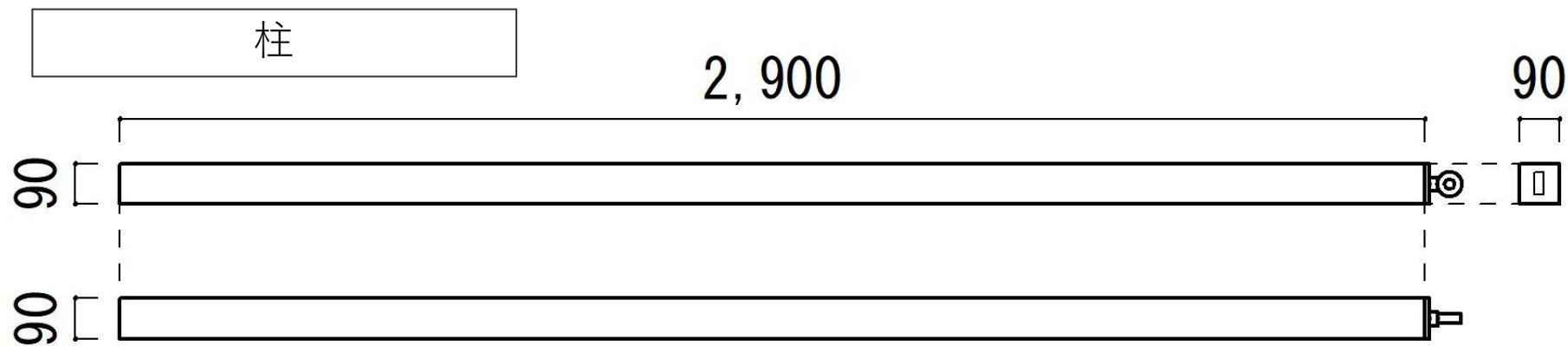




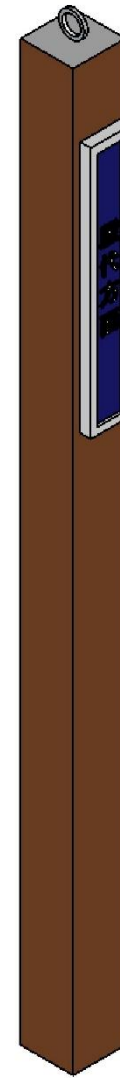
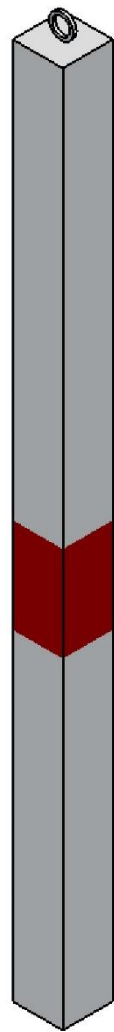
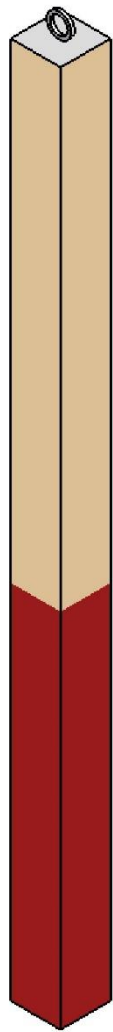
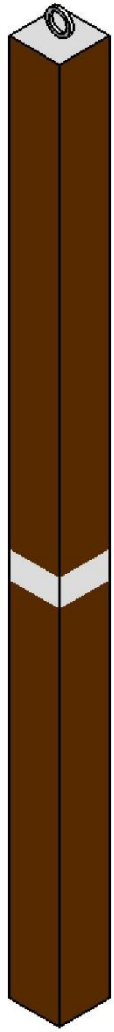
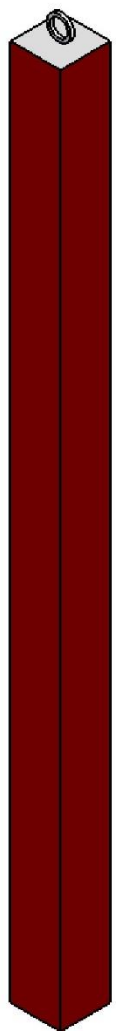
柱の長さは2種類。
(バレーボール、バドミントンネットの高さ)

下部500mmは地中に埋まる部分。

アイボルト + 板付きナット、アジャスターベース

小口面を保護し、木材の劣化を遅めます。
角材の径と鉄板の径が合わない場合は頂部を削ります。

カラー



看板を模した
木板を貼り付け

河東線を走った車両をイメージ

河東線駅舎ホーム上屋をイメージ

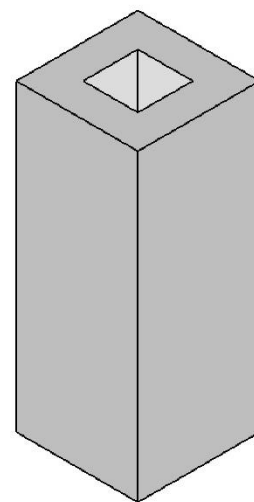
蓋

480

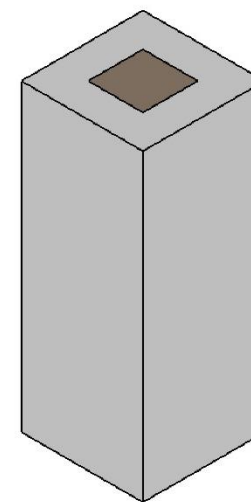
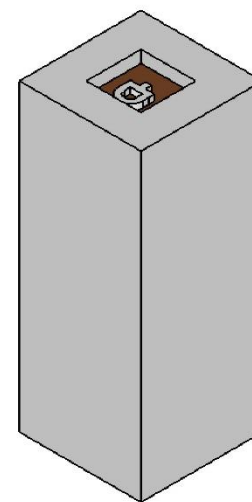
90

90

90

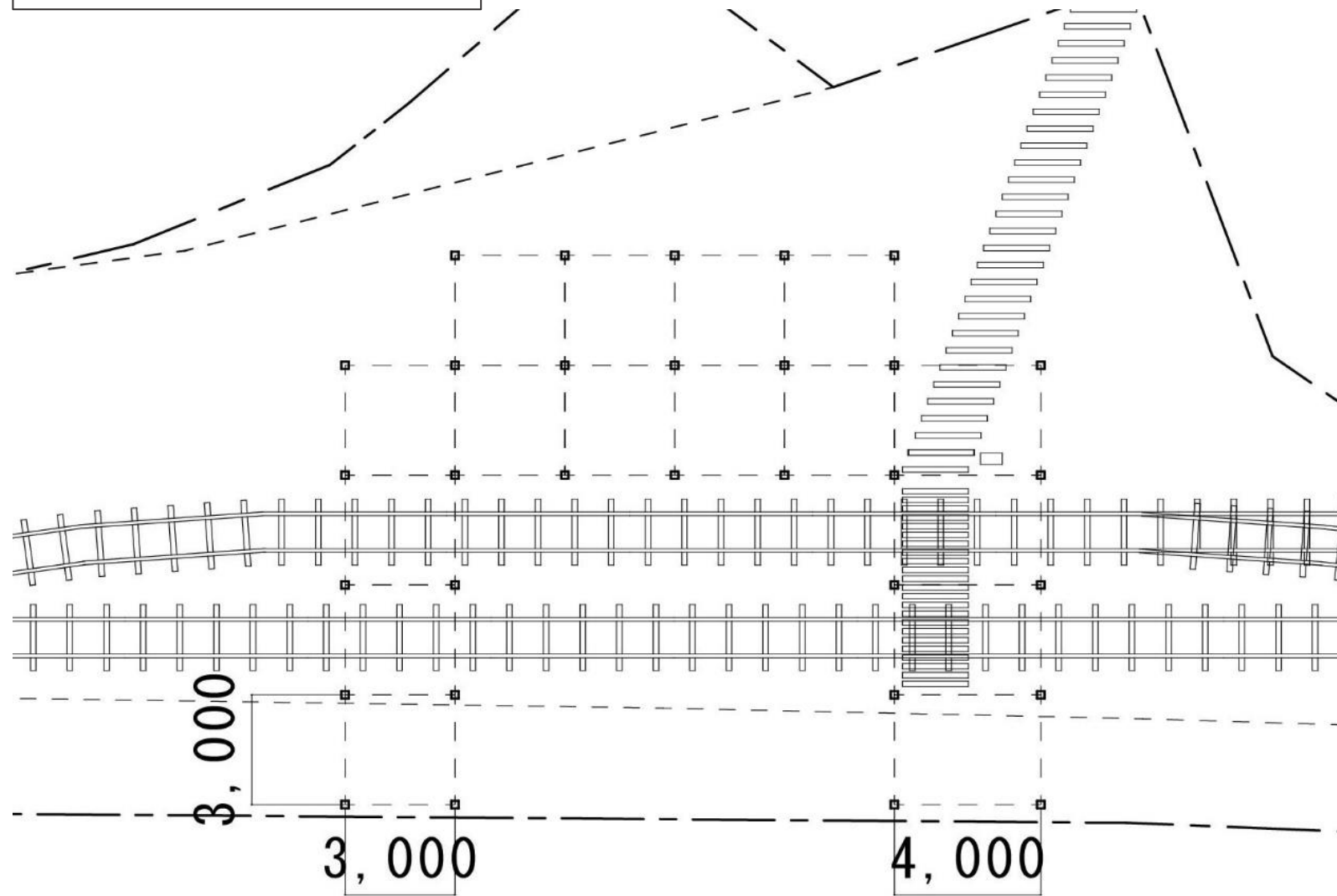


フックにロープを通し、
コートラインを作る



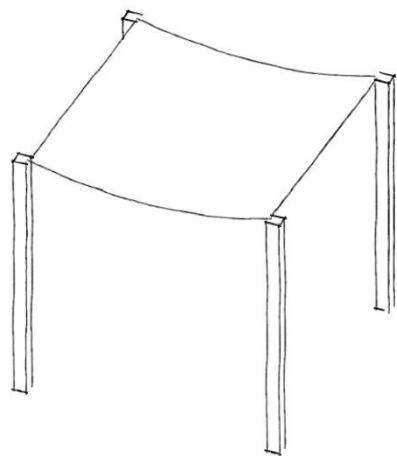
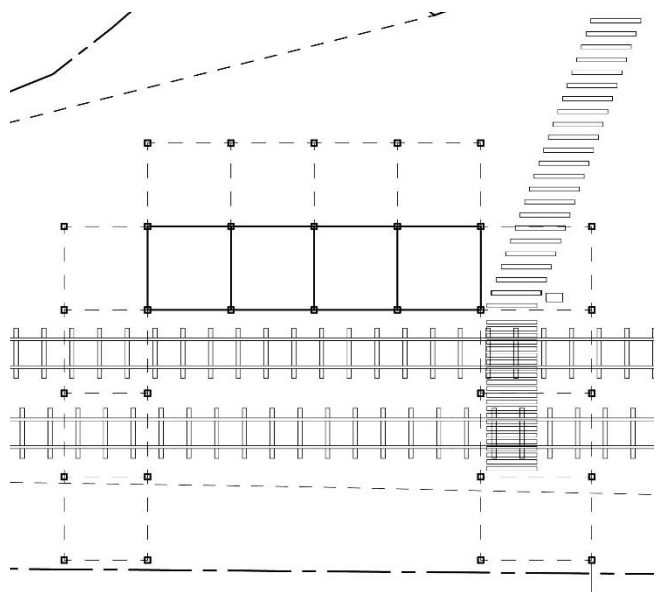
上を石等で埋め、いたずら防止

配置

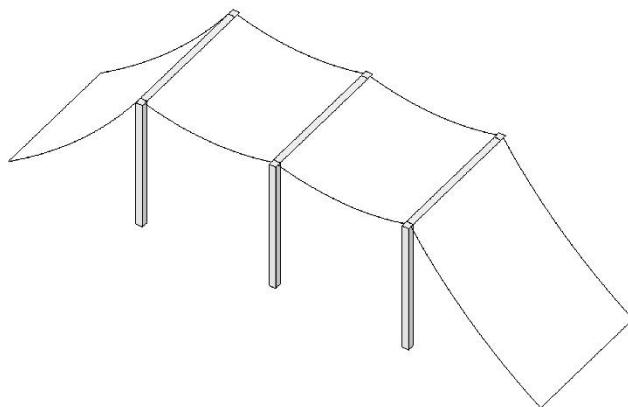
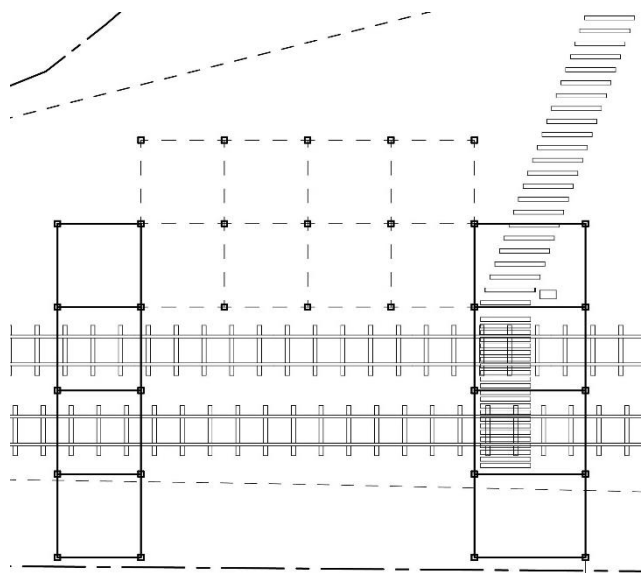


合計数：31カ所

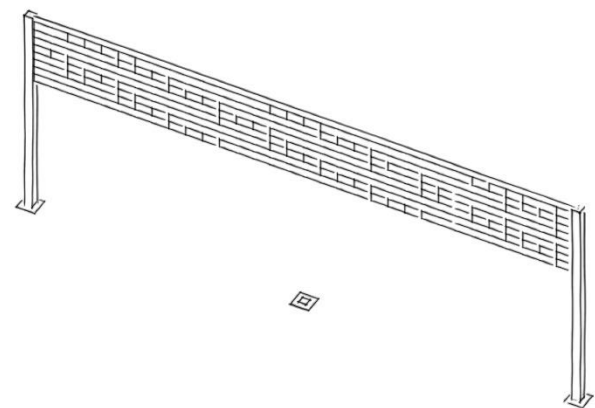
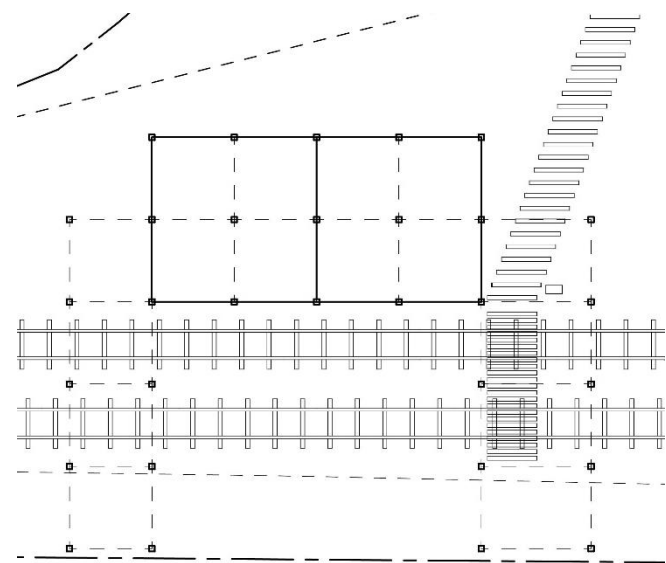
基本的には3m間隔
ウッドデッキ上は、分岐器がある
ため、4m間隔となる。



パーゴラ



ステージ



バドミントンコート

